

(お知らせ)

福島第一原子力発電所4号機の復水器洗浄装置の点検について

平成19年1月17日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

当所4号機(沸騰水型、定格出力78万4千キロワット)は定格出力にて運転中のところ、平成19年1月16日午後11時頃、3台ある主復水器^{*1}の水室^{*2}の入口圧力が上昇傾向にあることを確認いたしました。

圧力上昇は、主復水器内に海生物などが付着したことによるものと判断し、主復水器の逆洗操作^{*3}を実施したところ、本日午前0時11分、主復水器(C)の復水器洗浄装置^{*4}に関する警報が発生し、当該装置のボール捕集器^{*5}が開動作の途中で停止していることを確認いたしました。

当該装置は前日に運転しておりましたが、洗浄用のボールの回収率が社内で定めた回収率を下回っていたため、逆洗操作にあたっては、ボール捕集器を回収位置にして実施しました。これにより、主復水器内に付着していた海生物などがボール捕集器に詰まり、動作不良になったものと推定しております。

このため、本日午後10時頃より発電機出力を約35万キロワットまで低下させ、主復水器(C)の冷却機能を切り離した上で当該捕集器の点検を行うことといたしました。

なお、点検が終了次第、定格出力に復帰いたします。
これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 主復水器

タービンを回した蒸気を海水により冷却し水に戻す機器。

* 2 水室

1台の主復水器は2つの水室を有している。

* 3 逆洗操作

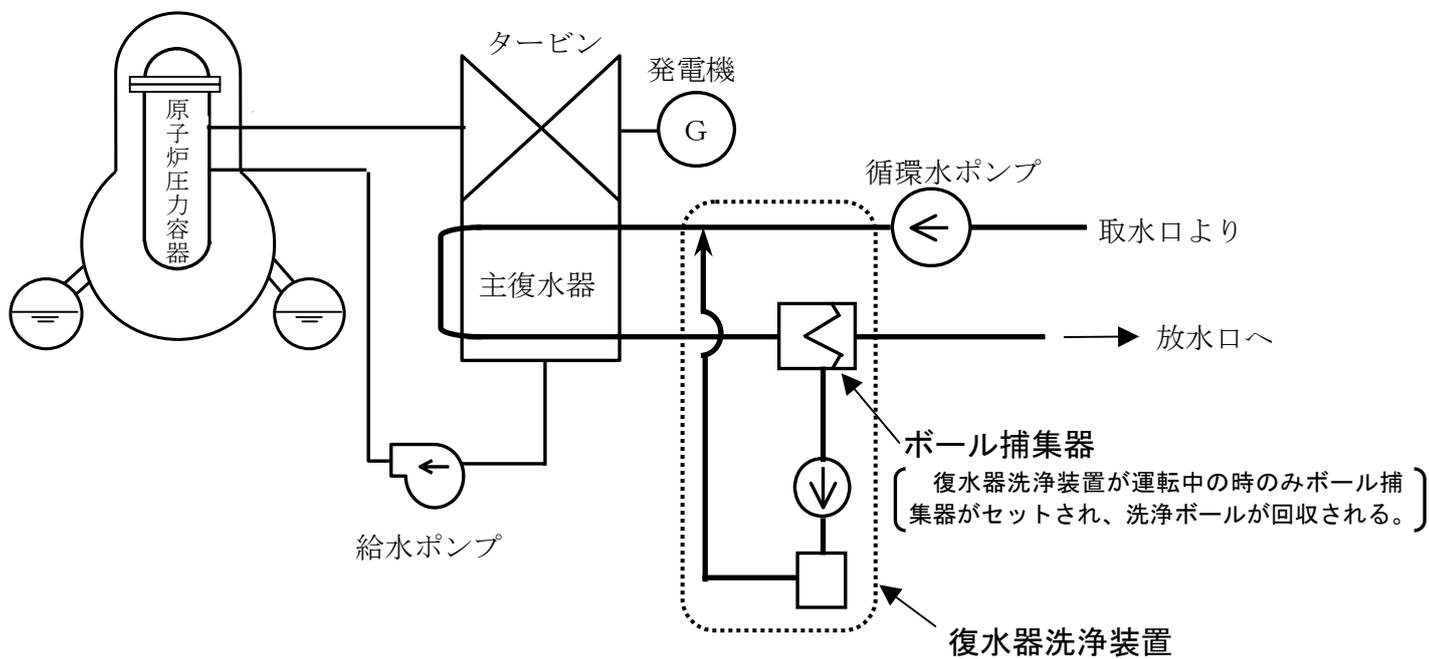
主復水器内の細管に付着した海生物などを除去するため、通常流れている海水の方向を逆方向から流す操作。

* 4 復水器洗浄装置

主復水器の冷却細管内部をスポンジボールで洗浄するための装置。

* 5 ボール捕集器

主復水器内の細管に付着した海生物を、細管より少し大きめのスポンジボールにより除去しているが、この作業を終えたスポンジボールを回収するための装置。



系統概略図